

ソフトバンク携帯、 iPodに採用される！ 『テナージュ』

東洋突板工芸(株)
社長 大関 一宏さん

SoftBank携帯最新モデルに、テナージュが採用された！テナージュ製品は躍進しつつある。テナージュは東洋突板工芸(株)が、大阪のゼロワンプロダクツと共同で推し進めている、日米特許製品である。

採用された携帯は、三月八日発売されたシャープ製の823SH。テナージュはデスクチャー部分に使われている。

832SH本体を購入すると、テクスチャー無料引換券が付いてくる。十種類の中からユーザーが選べる。九種類は革。そして残りの一つが黒檀を使用した木、つまりテナージュである。

どういふいきさつで採用になったのだろうか？社長の大関一宏さんは、「昨年十月シャープから依頼がありました。」と語る。その後試作を重ね、

一月にO・Kが出た。その過程で、五種類のサンプルモデルを提供したが、最終的にソフトバンクの孫正義氏が黒檀を使ったテナージュに決定したそうだ。最初に二万一千台を納品。今追加で四千台の注文が入っている。

「これまで、突板市場での販売ばかりでしたが、全国のユーザーが購入する製品に係わるのは初めてですよ！



画期的なことで非常に嬉しいですね。それに今シャープ以外の携帯メーカーから問い合わせもきています。更に発展することを期待しています。」と大関さんは大変喜んでいられる。そして取材の際、驚いたことがあった。何だろうか？大関さんに語ってもらおう。「実はiPod(アイポッド)の包装ケースに西陣織テナージュの採用が決まっているんですよ。」



SoftBank携帯最新モデルに、採用されたテナージュ



これはすごい！iPod(アイポッド)は、アメリカのアップル社によって開発・製造及び販売されている携帯型デジタル音楽プレイヤーである。日本を始め世界中で最も大きな人気とシェアを持っている。最初のiPodが販売されたのは五年半前の二〇〇一年十一月であったが、現在累計販売台数が一億台を突破している。iPodの二〇〇五年末の日本国内シェアが約六十%である。



iPodの包装ケースに西陣織テナージュの採用が決まった



松下電工の子会社とタイアップして照明器具を売り出すことに

そして「新たに展開している他の製品に、MUKU」があります。これまでテナージュは松下電工の照明器具の一部に使われていましたが、このたび松下電工の子会社とタイアップして異なった趣の照明器具を売り出すことになりました。テナージュを使うことで、天然木の照明ではかつてないデザインが可能になっています。」今東急ハンズから販売の申し出があつている。



CEMENT produce DESIGNと組んで売り出した筆箱

また、CEMENT produce DESIGNと組んで、ブックカバー、筆箱、カードケースなどを売り出している。

昨年五月に取材した時点では、テナージュは歩み始めたばかり。知名度も低かった。様相が急激に変わったのはなぜだろうか。一つはジェットロに認定されたこと。それに大関さんの行動力に依るところも大きい。活発にPRし、展示会出品に力を入れた。

たとえば、世界最大の消費財見本市である、ドイツの「フランクフルト・メッセ・アンビエンテ」にもテナージュを出品。先月号の会報でも取り上げた、東京インターナショナル・ギフト・ショーにも出品している。

「新たに一步を踏み出そう！」これは、大関さん自らが会長を務める、信金ニューリーダーズクラブの活動テーマ。大関さんは力強く語る。「既存の商売をしていては頭打ちになるのには目に見えています。新しい顧客、商品、市場、販売方法の面で、新たな一步を踏み出す行動力を大事にしています！」

☆テナージュは、ツキ板を使用しているにもかかわらず、折り曲げても割れず、縫製加工も可能という優れたもの。非常に柔軟でも強度がある。誤って洗濯してもOK。従来は廃棄していた端材を使うため環境にも良い。そして従来の天然木シートのように表面をフィルムやプラスチックで覆っていないため、天然木が持つ暖かい質感を十分に楽しめる。二〇〇四年三月に日本で、二〇〇五年八月に米国で特許を取得。テナージュの製造は東洋突板工芸(株)が行っている。